

No.2022-60

発行:2022年8月18日

『SUPER GT 第4戦富士』GT300クラスで DUNLOP タイヤ装着車両がワンツーフィニッシュ

住友ゴム工業(株)(社長:山本悟)は、8月6日から7日に富士スピードウェイで開催された国内最高峰のレースのひとつ『2022 AUTOBACS SUPER GT』の第4戦で、DUNLOP(ダンロップ)としてサポートするチームが、1位から3位の表彰台を独占した第2戦*に続きGT300クラスでワンツーフィニッシュを果たす好成績を収めました。



表彰式の様子

真夏のレースとは思えない想定外の低い気温かつ路面温度の中、決勝レースはスタートしました。予選2位の「R&D SPORT」の「SUBARU BRZ GT300」は、着実なペースでレース中盤まで3番手のポジションを維持。レース終盤では、DUNLOP タイヤ装着車両同士の「SUBARU BRZ GT300」と「GAINER」の「NISSAN GT-R NISMO GT3」による激しいトップ争いが繰り広げられ、最後は「SUBARU BRZ GT300」が2位の「NISSAN GT-R NISMO GT3」とは6秒の差で今季初優勝を飾りました。



優勝した井口卓人選手(左)、山内英輝選手(右)



「R&D SPORT」の「SUBARU BRZ GT300」

今年のレースは、昨年の300kmから延長され、450kmの距離で行われました。より長い距離をトラブルなく走り切れる性能と耐久性を持ったタイヤが求められるレースにおいて、上位5台のうち4台がDUNLOP装着車両となる好成績を収めました。続く第5戦鈴鹿においてもチャンピオン獲得を目指し、参戦するチームとドライバーを足元から支えます。

※『SUPER GT 第2戦富士』GT300クラスでDUNLOPタイヤ装着車両が表彰台独占(2022年5月11日発行リリース):

https://www.srigroup.co.jp/newsrelease/2022/sri/2022_037.html

■GT300クラス DUNLOPタイヤ装着車両順位

順位	チーム	車両	ドライバー
1位	R&D SPORT	SUBARU BRZ GT300 (61号車)	井口 卓人
			山内 英輝
2位	GAINER	NISSAN GT-R NISMO GT3(11号車)	安田 裕信
			石川 京侍
4位	LM corsa	TOYOTA GR Supra GT(60号車)	吉本 大樹
			河野 駿佑
5位	K-tunes Racing	LEXUS RC F GT3(96号車)	新田 守男
			高木 真一
22位	GAINER	NISSAN GT-R NISMO GT3(10号車)	富田 竜一郎
			大草 りき
			塩津 祐介
リタイア	SHADE RACING	TOYOTA GR 86 GT(20号車)	平中 克幸
			清水 英志郎

以上

<商品・イベントに関するお問い合わせ先>

タイヤお客様相談室 TEL:0120-39-2788